



人と環境に優しい中央区を目指して

2019.9月 第18号

雲の形や虫の声に 秋の気配を感じる今日この頃ですね。

11月に実施予定の「中央区の森間伐作業体験ツアー」へのお誘いと、先日終わった「木のある子育てワークショップ」のご報告をいたします。

会員様特別企画！

参加者募集 「中央区の森間伐作業体験ツアー」を実施します

◇日 時:11月9日(土)8:00~17:30

中央区森の応援団の会員様向けに企画したツアーです。秋の一日、中央区の森で間伐作業を体験してみませんか。ご家族、お友達とのご参加も大歓迎！お申し込みをお待ちしております！詳細は別紙をご参照下さい。

ご報告 「木のある子育てワークショップ」を開催しました

◇日 時:9月7日(土)10:30~11:50 ◇会 場:月島社会教育会館 第一および第二和室

本事業は、中央区地域家庭教育推進協議会の助成を受けて開催しました。

当日の参加者は、4組(大人4名、子ども6名)と少なかったのが残念でしたが、逆にアットホームな雰囲気ワークショップになり良かったです。

まず、親だけの座学タイム。森の応援団から、日本の森の現状、中央区では檜原村に中央区の森という協定林を持っていること、森を管理することが地球環境に良い影響を及ぼすことをお話しました。そして、本日の開催目的は、おもちゃの材料である「木」を育てる「森」に思いを馳せ、ひいては「自然環境」にまで関心を広げてほしいことだとお伝えしました。

続いて、講師をお願いした、東京おもちゃ美術館副館長の石井今日子様からお話を伺いました。ご自身の子育て体験や、保育士としての経験からのお話はとても説得力のあるものでした。以下、一部ですがご紹介します。

- 木でなくても良いおもちゃはある。しかし、子どもの想像力を育てるのは木の方が優れている。
- どんなに良いおもちゃでも、与えっぱなしはダメ。子供の「嬉しい」「楽しい」に共感してあげることが大切。
- 感情のコントロールや目標に向かって頑張れる力など、数値化できない非認知能力を持った子どもに育てることが大切。これは就学前の時期のみに、知育やお勉強ではなく遊びを通して身に着けることができる。

その後、子どもたちの待つ部屋に移動し、個別の相談などに応じていただきました。

参加者からは、有意義な時間を過ごせたと好評でした。



保護者の方の木育講座の様子



保育のお部屋の様子



木のおままごとや積み木、その他たくさんのおもちゃで遊んでいました



最後は保護者の方も保育室に移動して石井先生よりおもちゃについてのご説明や遊び方等をお話頂きました

参加者募集 「第16回子どもとためす環境まつり」に参加します

◇日時:9月28日(土)10:00~15:00

◇会場:明正小学校(中央区新川2-13-4)

中央区環境推進課環境活動係のお手伝いで今回は「中央区の森の間伐材」でブルドーザーを作ります。
お手伝い可能な方はよろしくをお願いします。(上履き持参)

●編集後記●

東京湾を北上した台風15号。こういう進路は記憶にないので、かなり慌てました。皆様のお宅では被害はなかったでしょうか。猛暑といい、台風の大型化といい地球温暖化の影響を感じますね。

発行: NPO 法人中央区森の応援団 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-5-5

TEL.03-3666-0930 FAX.03-6231-0936 Mail. k.nakajima@chuo-m.net

ホームページ <http://chuokumori.org/index.html>